

[奨励賞] ZENMU Virtual Desktop



取締役社長
田口 善一氏

株式会社ZenmuTech

〒104-0061 東京都中央区銀座8-17-5 アイオス銀座804

TEL. 03 (6260) 6195

<https://zenmutech.com/>



独自開発のAONT方式の秘密分散技術をパソコンのデータ保護に活用し、実用化した。ユーザーデータを分散保管することで、パソコンの紛失や盗難などによるセキュリティー事故発生を抑える。

パソコン内のユーザーデータ領域（ドライブ）を秘密分散で無意味化して、1片（1キロバイトのみ）を別のストレージで管理する。両方がそろわない限り、元情報には復号しない。秘密分散なら、1片が手元があれば、パソコン内には無意味なデータしか存在しない証拠となる。パソコンを起動する際は、分散片を接続するだけで、パソコンのデスクトップが起動。それ以降は、通常の操作で利用可能で、特に意識することなく、パソコンのデータを保護する。

クラウド上の分散片をスマートフォンやUSBに同期させることで、オフラインでも利用が可能。

また、パソコンの盗難や紛失時には、管理者や自身で、クラウド上の分散片へのアクセスをロックすることで、パソコンのデータ保護が可能となる。

一般的な暗号化では、暗号鍵をパスワードなどの簡単なものに変えて管理する。パスワードの使いまわしなども起こり、運用において、安全性が課題となっていた。

秘密分散方式は、データも含めて分割し、代替や使いまわしができないため、安全性を高めている。また、1片でも欠けると情報の復号ができないため、1片があっても、残りは無意味なデータである。

処理速度は、通常のパソコン操作とほとんど変わらず、分散後の総データ容量も、1ギガバイトで0.1%程度の増加なので、余分なディスク容量も必要とせず、実用的だ。